

藤岡市 議会だより



◆発行日 平成27年5月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 イシイ印刷株式会社
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第70号



危険ドラッグ講演会
(3月14日 市民ホール)

3月定例会の あらまし

定例会は、2月26日から3月16日までの19日間の会期で開催されました。

平成27年度藤岡市一般会計予算など54議案が提出されました。

◇26・27日〓本会議 会期の決定。
市長提出議案53件を上程、
うち38議案を即決。

◇2日〓教務厚生常任委員会。

◇6・9日〓予算特別委員会。

◇11日〓本会議 一般質問。

◇16日〓本会議 委員会付託議案
15件を可決。議員提出議
案1件を即決。

市の財政について

渡辺 新一郎

問 過去3年間の補正予算の執行状況、補正予算の回数について伺います。

答 平成23年度は、当初予算が260億3000万円、補正回数5回、7億2325万4000円の増額補正で、2・8%の伸び、平成24年度は、当初予算が245億円、補正回数5回、14億131万1000円の増額補正で、5・8%の伸び、平成25年度は、当初予算が244億3000万円、補正回数5回、1億5784万3000円の増額補正で、0・6%の伸びとなりました。

問 今後の市の財政状況について伺います。

答 平成27年度当初予算案は268億9000万円、過去最大の規模となっております。今後についても、自主財源の確保、市有財産の有効活用、工業団地の造成や企業の誘致を促進するな

ど最大の努力をし、市民サービスの質を落とすことなく、将来に向け持続可能な財政運営に努めていきたくと考えています。

地域活性化について

問 市の現在の具体的な取り組みについて伺います。

答 世界遺産登録となった「高山社跡」や年間250万人以上の方が訪れている「道の駅らん藤岡」を核とした観光振興、東京中央区との都市間交流、蚕マラソン等のスポーツイベントの実施など、さまざまな施策を市民と協働で実施しています。

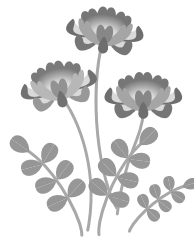
問 地方創生の具体的な事業内容について伺います。

答 ひとつは、消費喚起を目的とした30%のプレミアム付き商品券の発行、また、らん藤岡客体動向調査などを実施します。

問 地域活性化の観点からニューイヤー駅伝のコース

変更（藤岡市経由）について伺います。

答 藤岡市を經由させるためには、隣接自治体との調整も不可欠であり、交通規制などの課題も多く、現状ではコース変更は難しいと考えています。



地方創生について

窪田 行隆

問 国は地方創生を重要課題として、市町村に対して地方版総合戦略の策定を求めています。藤岡市の総合戦略の策定について伺います。

答 藤岡市においても平成27年度中に、策定することとして伺います。

問 人口減少を最小限に食

い止めつつ、人口減少時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携していく必要があります。

人口減少・高齢化社会にマッチしたまちづくりという大きな視点を持って、今後の方向性を総合戦略に盛り込んでいく必要があると思います。考えを伺います。

答 総合戦略の策定にあたっては、国策定の総合戦略に掲げている政策分野として、①地方における安定した雇用を創出する、②地方への新しい人の流れをつくる、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④時代に合った地域をつくり、安心した暮らしを守るとともに、地域と地域を連携することを基本に、藤岡市版の総合戦略を策定していきたいと考えています。



奨学金について

問 藤岡市の奨学金の目的について伺います。

答 藤岡市の奨学金貸与制度は、進学の意味と能力を有するにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な方に対して、奨学金を貸与することで、有為な人材を育成することを目的に創設されたものです。

問 日本学生支援機構の奨学金では、藤岡市の奨学金と同様に、進学した時と災害に遭った時や経済的に困難な場合に奨学金の返済が猶予されますが、さらに海外派遣された際なども返済が猶予されます。藤岡市でも返済の延期を認める考えはないか、伺います。

答 日本学生支援機構が認めている海外派遣の例では、派遣期間中、現地での生活費や居住費とは別に経済的な支援制度がありますので、海外派遣を理由に奨学金の返済を延期する必要性は低いと考えます。

教育現場の現状に
ついで

橋本 新一

問 本市における子どももの貧困対策法による児童・生徒への対応について伺います。

答 就学している児童・生徒の家庭への経済支援として、児童生徒就学援助費支給制度があります。この制度は、経済的な理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、修学旅行費の実費支給を初め、学校給食費、学用品費、宿泊校外活動費、日帰り校外活動費、新入学児童生徒学用品費、医療費等を支給するものです。

問 就学援助費を受けるための手続について伺います。

答 入学する予定の児童の保護者に対しては、学校より制度のお知らせを通知しています。また、在校生についても同じ時期に保護者へ通知を配布しています。就学援助を希望する保護者

は、学校へ申請書を提出します。その後、民生委員に家庭訪問を依頼し、会議を経て教育委員会へ報告します。教育委員会で再度審査し認定しています。

なお、申請は随時受け付けており、在校生で援助が必要と思われる家庭があった場合には、その都度、申請を検討するように促しています。

中山間地振興についで

問 中山間地の定義と地域振興について伺います。

答 基本的には、平野の外縁部から山間地のことを言いますが、定義としては法律上と農林統計上の定義に大別されます。

法律上の定義では、特定農山村法による特定農山村地域、山村振興法による振興山村、及び過疎地域活性化特別措置法による過疎地域のことを言います。

また、農林統計上の定義では、都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域の4地域に分類

される中で、中間農業地域と山間農業地域を指しています。本市では旧日野村地域と旧鬼石町全域が該当します。

中山間地では、生活環境の整備率が低い状況にありますが、住民が豊かで住みよい生活を送れるよう、道路等の設備的施策を行うとともに、都市住民との交流を促進するため、交流拠点の整備等を推進していきたいと考えています。

社会保障制度の充実に
ついて

渡辺 徳治

問 安倍政権は、社会保障のためと言って消費税を8%に増税しながら、社会保障費の自然増削減、制度改善法案を復活強化して、介護、年金、医療、生活保護など、手当たり次第に切り捨てようとしています。財政が大変と言いながら、285兆円もの内部留保がある大企業に、今後2年間で

答 平成19年度に税率改正を実施し、平成20年度には後期高齢者支援金等の課税に伴い改正を行い、1人当たりの負担額は県内12市中11番目、応益割の平等割と均等割は、県内12市中一番低い状況であり、引き下げたことは現状では難しいと考えています。

問 介護保険料の改定について伺います。

答 改定については、現行の基準額で年額6万2300円から6万4400円となり、3・37%の増となります。

問 ひとり親家庭の現状及び経済的支援について伺います。

答 平成22年の国勢調査で、本市の母子世帯は653世帯、父子世帯は118世帯となつています。また、平成25年度末で児童扶養手当受給世帯は645世帯となつています。

近年ではひとり親家庭の子どもの貧困率が高く、世代を超えた貧困の連鎖を防ぐため、子どもの貧困対策法が施行され、子どもの貧困対策を総合的に推進することになりました。市としても、県の計画を踏まえ、関係機関と連携を図りながら支援を進めていきたいと考えています。

市民の安心安全に

〇〇〇

齊藤 千枝子

問 除雪について、幹線道路や主要道路は業者に委託して行なっていますが、脇道は行なっていない。ガードレールの廃材を利用した雪かき機を作り無料で提供して、軽トラックで引くことにより除雪を行なっている町があります。高齢化が進んでいますので、藤岡市もこのようなことができないか伺います。

答 実施している自治体の事例を参考にして、今後研究したいと考えます。

問 防災備蓄食品については、2万3千食のアルファ米のうち、8割が食物アレルギー対応とのことですが、児童生徒の4・5%に食物アレルギーがあるとの調査結果があります。全国学校栄養士協議会がアレルギー特定原材料等27品目すべてを使用しない「救給力レール」を開発しました。ご飯も入っておりそのまま食べ

られるものです。アレルギー対応の粉ミルクや救給力レールを備蓄食品に加えられるか伺います。

答 アレルギー対応の粉ミルクは現在備蓄がありません。これらの食品について備蓄品に加える方向で検討したいと考えます。

認知症対策 〇〇〇

問 認知症介護家族の交流会が開催できないか伺います。

答 先進地の事例などを参考に検討したいと考えます。

問 認知症ケアにユマニチュードという技法がありますが、職員がこの技法を学んでいただき、在宅介護の方に実践・講義をすることはできないか伺います。

答 直接患者と接している事業所や在宅介護支援センター等に周知するとともに、適切な介護サービスや相談業務を行っていただくよう協力を求めています。

えます。

問 軽度認知症を早期発見して相談につなげられ、また認知症予防にも役立つ認知症チェックシステムがあります。市のホームページやスマホで手軽にできますが、導入できないか伺います。

答 どれだけの利用が見込まれるか、また費用面の検証等を行い、方向性を出していきたいと考えます。

都市計画

茂木 光雄

問 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針について伺います。

答 群馬藤岡駅周辺では、駅を生かした公共交通の利便性の高い良好な居住環境の整備や、都市機能の集積を図り、居住者を維持、回復するとともに、隣接する新町駅との連携を図ること、また市街化区域沿線部の市

街化調整区域では、既存のまちのまとまりを維持し、秩序ある土地利用を調整することなどが挙げられ、その課題に対する施策を検討します。

藤岡インターチェンジ周辺地区では、無秩序な開発や宅地化が進行するおそれのあることから、引き続き計画的に産業・流通業の拠点の配置を検討します。

さらに産業活動の活性化、地域間交流の促進、地域医療の充実等のため、隣接する高崎市や埼玉県へのアクセス性を向上させる施策を検討します。

また、都市計画マスタープランは都市計画基礎調査の結果などを踏まえ、おおむね5年ごとに見直しを行ってまいります。

安心・安全のまちづくり

問 具体的な市の政策について伺います。

答 交通安全防犯体制の充実として、交通量が増加傾向にある中で、警察や関係

機関、団体と連携し、交通安全教育や啓発活動を積極的に推進し、危険箇所の点検や交通安全施設の整備を行い、交通事故のない安全なまちづくりを進めています。

また、犯罪の凶悪化、低年齢化の傾向を踏まえ、市民の防犯意識の高揚と自主的な地域安全活動を推進していくとともに、防犯灯などの整備を計画的に進め、犯罪のない明るい地域社会の形成を進めています。

問 商店街が設置した防犯カメラに対して、電気代などの補助をする考えがないか伺います。

答 市街地のネオン組合が設置した防犯カメラは、組合が国の補助金を活用して独自に整備したもので、5つの組合で実施した商店街活性化のネオン灯のLED化に合わせ、36基の防犯カメラの設置が計画され、26基が既に稼働しています。管理費の補助については、設置が地域に限定されていることから、現時点では予定していません。

市議会を傍聴しませんか？

議会は、3・6・9・12月の定例会と随時に開催する臨時会があります。

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階 議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っていきます。

傍聴人の定員は58人です。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

■6月定例会（予定）

月 日	時 間	摘 要
6月4日（木）	10：00	本 会 議
6月5日（金）	10：00	本 会 議
6月8日（月）	10：00	常任委員会
6月9日（火）	10：00	常任委員会
6月15日（月）	10：00	一 般 質 問
6月16日（火）	10：00	一 般 質 問
6月18日（木）	10：00	本 会 議

● お問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎22-1211 内線2361 ●

この議会だよりに掲載してある一般質問は、要約してあります。

詳しくは、藤岡市のホームページや市役所相談室、図書館で会議録（5月下旬公開予定）をご覧ください。

また、一般質問の様子は、インターネットによる録画配信も行っています。

藤岡市のホームページの「藤岡市議会」→「議会中継・録画放映」で見ることができます。（平成25年第4回定例会から）

こちらも、ぜひ、ご覧ください。

● 市議会ホームページ ▶ <http://fujioka.gijiroku.com/> ●

議案等審議結果〈3月定例会〉

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
第1号	三波川財産区管理会委員の選任について	同意(全員一致)
第2号	三波川財産区管理会委員の選任について	同意(全員一致)
第3号	三波川財産区管理会委員の選任について	同意(全員一致)
第4号	三波川財産区管理会委員の選任について	同意(全員一致)
第5号	藤岡市行政手続条例の一部改正について	可決(全員一致)
第6号	藤岡市移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第7号	藤岡市近年難病患者見舞金支給条例の一部改正について	可決(多数)
第8号	藤岡市障害者地域活動支援センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	可決(全員一致)
第9号	藤岡市介護保険条例の一部改正について	可決(多数)
第10号	藤岡市高齢者自立センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第11号	藤岡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全員一致)
第12号	藤岡市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全員一致)
第13号	藤岡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決(全員一致)
第14号	藤岡市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全員一致)
第15号	藤岡市保育園条例の一部改正について	可決(全員一致)
第16号	藤岡市みどの学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第17号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可決(全員一致)
第18号	藤岡市中小企業設備近代化資金融資促進条例の一部改正について	可決(全員一致)
第19号	藤岡市鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律関係手数料条例の一部改正について	可決(全員一致)
第20号	藤岡市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決(全員一致)
第21号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	可決(多数)
第22号	藤岡市教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	可決(全員一致)
第23号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決(多数)
第24号	区域外の道路認定の承諾について	可決(全員一致)
第25号	工事委託協定の締結の議決事項の変更について	可決(全員一致)
第26号	字の区域の変更について	可決(全員一致)
第27号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第28号	平成26年度藤岡市一般会計補正予算(第5号)	可決(全員一致)
第29号	平成26年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
第30号	平成26年度藤岡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第31号	平成26年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
第32号	平成26年度藤岡市介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第33号	平成26年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第34号	平成26年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第35号	平成26年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第36号	平成26年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第37号	平成26年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第38号	平成26年度藤岡市三波川財産区特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第39号	平成26年度藤岡市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第40号	平成26年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第41号	平成27年度藤岡市一般会計予算	可決(多数)
第42号	平成27年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決(全員一致)
第43号	平成27年度藤岡市後期高齢者医療特別会計予算	可決(多数)
第44号	平成27年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可決(全員一致)
第45号	平成27年度藤岡市介護老人保健施設特別会計予算	可決(全員一致)
第46号	平成27年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決(全員一致)
第47号	平成27年度藤岡市学校給食センター事業特別会計予算	可決(多数)
第48号	平成27年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可決(全員一致)
第49号	平成27年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決(全員一致)
第50号	平成27年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	可決(全員一致)
第51号	平成27年度藤岡市三波川財産区特別会計予算	可決(全員一致)
第52号	平成27年度藤岡市水道事業会計予算	可決(全員一致)
第53号	平成27年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計予算	可決(全員一致)
議員提出議案		
第1号	藤岡市議会委員会条例の一部改正について	可決(全員一致)

委員 青木 貴一
 委員 野口 靖一
 委員 渡辺 徳一
 委員 岩崎 和則
 委員 佐藤 千枝子
 委員 齊藤 淳哉
 委員 吉田 達哉
 副委員長 隅田川 徳一

議会だより編集委員会
 いたします。

で、今後ともよろしくお願
 っており、議会だよりを作
 かりやすい議会だよりを
 り市民の皆様にとつて、わ
 る編集となりますが、今後
 からは新しいメンバーによ
 りが最後となります。次回
 我々8人による編集は、今
 回は最後となります。次回
 な質疑応答が行われました。
 議会だより編集委員会も

3月定例会では、平成27
 年度一般会計予算をはじめ、
 各議案の議決を行いました。
 また、一般質問は6名の
 議員が行い、市民生活に直
 結する問題について、活発
 な質疑応答が行われました。
 若葉の緑もしだいに色濃
 くなり、さわやかな季節と
 なりました。

編
集
後
記